# 令和5年度（2023年度）モニタリングシート

| 施設名 | 宮上 学童保育所 |
|---|---|

| 視点 | | 評価項目 | | 6月 所管課評価 | 6月 所管課コメント | 6月 指定管理者自己評価（コメント） | 9月 所管課評価 | 9月 所管課コメント | 9月 指定管理者自己評価（コメント） | 12月 所管課評価 | 12月 所管課コメント | 12月 指定管理者自己評価（コメント） | 所管課期末評価 | 所管課コメント | 指定管理者自己評価（コメント） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設の管理・運営を安定して行うことができるか | 定量的 | 職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員 | 出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか<br>【日報】 | B | 配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。 | B<br>指定された人数で運営している自施設で指定された人数を配置できない場合は近隣施設に応援依頼を呼び掛け対応している | B | | B<br>指定された人数で運営している自施設で指定された人数を配置できない場合は近隣施設に応援依頼を呼び掛け対応している。 | B | | B<br>適正に配置されている。 | B | | B<br>指定された配置人数で運営している。通常の応援依頼とは別に、シフト作成段階で職員が足りなくなる場合は事前に他施設に応援依頼している。 |
| | | 月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか | | B | 月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のミーティングノートや職員同士で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子ども達の詳細の状況を記録することで、全職員、全学童で情報を共有し保育につなげる取組みを行っている。 | B<br>適切に作成している<br>今年度刷新されたミーティングシートも活用し、日々の情報を記録できるようにしている | B | | B<br>適切に作成している。刷新されたミーティングノートに気になる児童の様子などを記載し、振り返りを行う事で、児童の理解に繋げている。 | B | | A　育成日誌の裏面に、ミーティングノートを作成し、業務記録と保育状況、保護者対応がいつでも分かるよう変更した。 | B | | A<br>八王子市社会福祉協議会共通のミーティングシートを使用し、児童の共有、振り返り、行事等の進捗、業務状況を確認している。 |
| | 定性的 | 団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること | 管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか<br>【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】 | B | 適正かつ明確化が図られている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>適切に行っている。 |
| | | | 延長利用料金の徴収は適正に行われているか<br>【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】 | B | 適正に徴収されている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている。現金で回収する場合は、出納帳に記載し指定された日にちに責任者が回収を行っている。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>適切に行っている。現金で回収する場合は、出納帳に記載し指定された日にちに責任者が回収を行っている。 |
| | | 収支計画が適正であること | 給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか<br>【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】 | B | 適正に執行されている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>適切に行っている。 |
| | | 管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること | 児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか<br>【研修件名・内容】 | B | 応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。 | B<br>気になる児童について、ミーティング時にケース会議を行い、児童の発達について理解を深めている<br>全職員に虐待防止研修を実施 | B | | B夏休みに入る前に、児童の権利についてと虐待防止の研修を行った。また夏休み後に気になる児童のケースについて共有を行った。保育実践研修への参加。 | A | 応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修を計画的に実施、参加している。また、法人の全所長が出席する全体保育実践研修では、「気になる子についてのケース検討会」を実施。実際に発生している現場の課題について、討議がなされている。討議された内容やアドバイスを基に次の保育活動に活かし、取り組んだ効果について、再び全所長で確認・検証するといった年間を通して職員の資質向上に取り組んでいる点を評価した。 | B<br>入職者研修（入職時新人研修）・集合研修（視野・子ども心を察する力・保育環境）・保育実践研修（気になる子について）参加 | B | | B　応急救護研修は全職員が受けるようにしている。施設職員交換研修、SDGs講師研修を行った。保育実践研修のケース発表者として、自施設職員や近隣施設の職員と情報共有を行い、保育の質の向上に努めている。 |
| | | | 保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか<br>【事業計画書・日報・ヒアリング等】 | B | 安定かつ継続的な職員配置がなされている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている。新人職員も多いが、長期継続勤務が出来るように勤務の相談等行っている。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>適切に行っている。新人職員が多く採用されているので、勤務希望や予定など相談を常に受け付けている。 |
| | | 施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか | 事業者の経営状況が健全な状態であるか<br>【確認資料例：財務諸表・財務評価表】 | B | 適正である。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>適切に行っている。 |
| | | | 業務の一括委託が行われていないか<br>【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】 | B | 協定書で定める範囲内で非常通報装置等、業務の一括委託が行われている。 | B<br>適切に行われている | B | | B<br>適切に行っている。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>適切に行っている。 |
| 施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか | 定量的 | 入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか | | B | 適切に処理されている。 | B<br>ダブルチェックを行い、適切に処理し、連絡日や学校連絡便を使用し、提出している | B | | B<br>ダブルチェックを行い、適切に処理し、連絡日や学校連絡便を使用し、提出している。 | B | | B<br>受け取り後すぐに処理をし、交換便にて市へ提出<br>重要書類の授受には受領書を発行 | B | | B<br>ダブルチェックを行い、適切に処理し、連絡日や学校連絡便を使用し、提出している。 |
| | 定性的 | 利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること | 開所日数、開所時間は守られていたか<br>【日報、月報・事業報告書】 | B | 開所日数、開所時間は守られている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている。 | B | | B<br>問題なし | B | | B　適切に行っている。土曜日などの小学校休業日には8時から適切に開所できるように、7時50分出勤として対応している。日誌は記入漏れなどが無いように施設長確認の後、ブロック長の確認を取り、適切に作成している。 |
| | | 施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか | 文書の管理・保存が適切に行われているか<br>【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】 | B | ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている。 | B | | B<br>文書保存年限表に基づき、適切に保管、管理 | B | | B<br>適切に行っている。専用の段ボールボックスに年度ごとにまとめて保管するようになっている。 |
| | | | 設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか<br>【事業報告書・実地調査】 | B | 職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。 | B. 日常の安全確認に加え、定期的な安全確認を実施、異常があった場合はミーティングシートに記載している<br>職員による事務室ドアの修繕を実施 | B | | B. 日常の安全確認に加え、定期的な安全確認を実施、異常があった場合はミーティングノートに記載している | B | | B<br>問題なし | B | | B. 日常の安全確認に加え、定期的な安全確認を実施、異常があった場合はミーティングノートに記載し、ブロック長等に報告している。 |
| | | | 備品の管理が適切に行われているか<br>【備品台帳・実地調査】 | B | 適切に管理されている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている | B | | B<br>備品シールにて通番管理、備品管理簿に記録 | B | | B<br>適切に行っている。 |
| 施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか | 定量的 | 利用者の満足度3.0<br>【利用者満足度調査】 | | | | | | | | | | | A | 利用者の満足度は3．0以上である。 | B<br>問題なし。満足度3.0以上を達成。行事の内容や連絡体制を充実させた結果、保護者や児童に満足いただける学童保育所運営を提供することが出来た。 |
| | 定性的 | 放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか | | A | 今年から小学校内でも保育を行うこととなり、放課後子ども教室運営団体と今まで以上に児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力している。怪我やトラブル発生時には迅速に対応するなどの一体的な取組みがなされている。放課後子ども教室開催時は積極的に参加し、放課後子ども教室と共催で出張児童館を実施した。 | B<br>毎週水曜日に保護者会が中心となって行われている<br>保護者との連絡を密にし、行事や工作に学童児も参加している | A | 放課後子ども教室運営団体と児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力している。怪我やトラブル発生時には迅速に対応するなどの一体的な取組みがなされている。<br>放課後子ども教室開催時は積極的に参加し、放課後子ども教室と共催で出張児童館を実施した。また共通した体験プログラムを実施し一体的な取組みが行われている。 | B放課後子ども教室のイベントに参加、共同でイベントを開催するなどで連携を取る。また放課後子ども教室へ参加している学童児の情報の共有を行い、互いの運営に良い影響を与えている。 | A | 放課後子ども教室運営団体と児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力している。怪我やトラブル等、有事には迅速に対応するなどの一体的な取組みがなされている。放課後子ども教室開催時は積極的に参加している。また共通した体験プログラムを実施し一体的な取組みが行われている。 | B<br>放課後子ども教室推進委員として、連携を図っている<br>放課後子ども教室に学童保育所として参加している<br>有事の際は臨機応変に、柔軟に対応している | A | 放課後子ども教室運営団体と児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力している。怪我やトラブル等、有事には迅速に対応するなどの一体的な取組みがなされている。放課後子ども教室開催時は積極的に参加している。また共通した体験プログラムを実施し一体的な取組みが行われている。 | B開催時は学童保育所から引率を行い、参加している。<br>行事(遊びの出前、スパーボールロケット工作、スポーツプログラム)に参加している。担当者の気になる児童について情報共有をしてる。 |
| | | 利用者からの苦情処理の体制がとれていること | 苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか<br>【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】 | B | 苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がされている。 | B<br>適切に行っている | B | | B<br>適切に行っている。内容によってはブロック長に相談し、助言を求めている。 | B | | B<br>玄関に苦情受付担当者を掲示し、迅速に対応<br>終了後は苦情受付書を作成し保管<br>相談はお迎え時や電話にて適切に対応 | B | | B<br>適切に行っている。内容によってはブロック長に相談し、助言を求めている。 |
| | | 利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか | 保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか<br>【おたより、連絡帳】 | B | 保護者会、おたより、連絡帳やアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。 | B<br>お便りを全家庭に電子配信<br>気になる事柄は即日連絡、緊急時や出席確認にマチコミメールを使用し、迅速に対応<br>保護者の目線に立った対応を心掛けている | B | | B<br>お便りを全家庭に電子配信<br>気になる事柄は即日連絡、緊急時や出席確認にマチコミメールを使用し、迅速に対応<br>保護者の目線に立った対応を心掛けている。 | B | | B<br>お迎え時に保護者と情報交換し、職員間で共有している<br>月のおたよりにて活動内容を周知している<br>保護者会との連携を密にとっている | B | | B　お便りを全家庭に電子配信。気になる事柄は即日連絡、緊急時や出席確認にコドモンシステム、マチコミメールを使用し、迅速に対応し保護者の目線に立った対応を心掛けている。 |
| | | 学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか | 学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか<br>【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】 | A | 学校や関係機関との情報提供・共有や関係機関など、状況に応じて連携を図っている。今年度から学校運営協議会に参加したことをきっかけに、協議会が主催するプログラミングの行事や、地域のクリーンエコ活動に参加した。また、地域の学習塾と入退室情報の共有など新しい取組みを行い、保育活動の充実を図っている。 | B<br>学校運営協議会に参加し、地域の活性化に協力し、関係機関との関係構築に努めている | A | 引き続き、学校や関係機関との情報提供・共有や関係機関など、状況に応じて連携を図っている。学校運営協議会に参加し、協議会が主催するプログラミングの行事や、地域クリーン活動、出張児童館への参加のほか前期から継続した取組みが行われており、保育活動の充実が図られている。 | B地域の児童を対象としたプログラミング教室を開催し、学童児と共に参加した。児童館主催のお祭りに参加し、子ども家庭支援センターやはちまるサポートなどの連携機関との交流を行った。 | A | 学校や保幼少などの関係機関との情報提供・共有や関係機関など、状況に応じて連携を図っている。地域クリーン活動、出張児童館への参加といった継続した取組みが行われており、地域や関係機関と関わりを持った保育活動が図られている。 | B<br>保幼少連携やクリーン作戦、出張児童館に積極的に参加<br>地域の自治会・ボランティアとの連携を密にとっている。地域のボランティアと草むしりを実施している | A | 保幼小などの関係機関との情報提供・共有や関係機関など、状況に応じて連携を図っている。地域クリーン活動、出張児童館への参加といった継続した取組みが行われており、年間を通して地域や関係機関と関わりを持った保育活動が図られている。 | B　学校運営協議会に参加し近隣の関係施設との連携を深めている。児童館行事に学童保育所として参加している。子ども家庭支援センターと児童の情報共有を行っている。 |
| 施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか（経理・費用の節減が図られ、管理運営が行われているか） | 定性的 | 資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること | 「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか<br>【ヒアリング等】 | A | 節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。地域から頂いた廃棄予定のプラスチックコップを活用し、行事に再利用したり、SDGsを理解するきっかけづくりにカードゲーム等を利用した環境教育を遊びの中に取り入れている。 | B<br>SDGsの項目を意識した工作やゲームを行い、児童の関心を高める保育を行っている | A | 節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した継続的な取り組みがなされている。地域から頂いた廃棄予定のプラスチックコップを活用し、行事に利用したり、SDGs工作をきっかけづくりにした環境教育を遊びの中に取り入れた活動を引き続き行っている。 | B<br>SDGsカルタを帰りの会などで使い、児童に環境について学ぶ機会を設けている。 | A | ゴミを減らすために、環境整備日を設け、近隣のゴミ拾いを通じてSDGsの理解につなげている点を評価する。 | B　リサイクルや再利用を心がけ、ゴミを減らすよう努め、月に一度環境整備日を設け、近隣のゴミ拾いを行っている<br>SDGsについて子どもと学習し理解を深めた | A | 節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した継続的な取り組みがなされている。地域から頂いた廃棄予定のプラスチックコップを活用し、行事に利用したり、SDGs工作をきっかけづくりにした環境教育を遊びの中に取り入れた活動を継続的に取り組んでいる点を評価した。 | B　H-EMSの施設内研修を適宜行っている。SDGs集合研修会に参加し、知識を深めている。また研修の内容を施設職員にもフィードバックし、施設で出来るSDGsを考え実行している。 |
| 事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか | 定量的 | 年間行事が事業計画どおり実施されているか<br>【行事計画書、行事参加者名簿】 | | B | 計画どおり実施されている。 | B<br>適切に行っている | A | 計画どおりに実施した行事に加え、分室を活用したお化け屋敷や週替わり工作（ソルトアート、うちわづくり）教室を実施。デリバリーランチ実施回数など様々な新しい取組みを行い保育活動の拡充を図っている。 | B<br>適切に行っている。当初予定していなかった、分室でのお化け屋敷や、週替わり工作を行い、夏の猛暑に対応した。 | B | | B<br>問題なし | B | | B<br>適切に行っている。夏の猛暑や冬の感染症対策として、急遽、工作の充実や、お化け屋敷、小学校の体育館でのスポーツ等を行った。 |
| | | 防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか | | B | 地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。 | B<br>日々のミーティング時に自衛消防担当及び不審者対応職員を決め、対応できるようにしている | B | | B<br>日々のミーティング時に自衛消防担当及び不審者対応職員を決め、対応できるようにしている。また施設の実情に合わせて、避難時の迅速な靴の履き方や、遊歩道の危険性を防災教育で取り扱っている。 | B | | B<br>月1回実施している | B | | B<br>日々のミーティング時に自衛消防担当及び不審者対応職員を決め、対応できるようにしている。また施設の実情に合わせて、不審者対策、避難経路の策定を行い、有事に備えている。 |
| 個人情報保護管理及び危機管理が図られているか | 定性的 | 個人情報の取り扱いが適切であること | 個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか<br>【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】 | B | 個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。 | B<br>適切に管理を行っている | B | | B<br>適切に管理を行っている。 | B | | B<br>個人情報関係書類は鍵のかかる書庫に保管している | B | | B<br>適切に管理している。専用の段ボールボックスに年度ごとにまとめて保管するようになっている。 |
| | | 緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること | 指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか<br>【保険証券】 | | | | | | | | | | B | 保険加入は適切である。 | B<br>適切に行っている。 |
| | | | 事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか<br>【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】 | B | 万が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。 | B<br>緊急時対応マニュアルに沿って対応できるように、体制を整えている | B | | B<br>緊急時対応マニュアルに沿って対応できるように、体制を整えている。 | B | | B<br>危機管理マニュアルを整備、職員教育に努めている | B | | B<br>緊急時対応マニュアルに沿って対応できるように、体制を整えている。 |
| | | | 事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか<br>【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】 | B | 事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。 | B<br>全体で安全対策委員会を組織し、ヒヤリハットの情報収集と周知を実施。危険の防止について知識を深めている | B | | B<br>全体で安全対策委員会を組織し、ヒヤリハットの情報収集と周知を実施。危険の防止について知識を深めている。。また毎月委員会に報告をしている。 | B | | B<br>全体で安全対策委員会を組織し、ヒヤリハットの情報収集と周知<br>職員間で共有している | B | | B　全体で安全対策委員会を組織し、ヒヤリハットの情報収集と周知を実施。全大会でその年の傾向や事故の起きやすい場所、時間を共有し、保育に活かしている。 |

| 期末総合評価 | B |
|---|---|
| 所管課コメント | 市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。会計処理も適切であり問題はない。<br>社会福祉協議会は、学童保育所の管理運営を20年以上行っており、多くの施設を適切に管理・運営するためのノウハウが蓄積され、育成日誌をはじめとする帳票類の記載や各種マニュアルの更新も随時行われ整っている。<br>適正な職員配置における応援体制や、課題等が発生した場合、組織全体で対応・解決していくこと、保育行事、職員研修において法人枠を超えて近隣の学童保育所ともに実施する姿勢は公の施設を管理運営する意識が高く評価する。<br>放課後子ども教室に単に学童として参加しているのではなく、運営団体との連携・協力関係が構築され、怪我等における有事の際に迅速に対応するといった一体的な取組みが図られている。<br>また、保育行事では、青少年対策地区委員会や子ども・若者育成支援センターと連携を図り、地域等の行事に積極的に参加している。保育活動を行う上で地域等の活力を活かした行事を行うことで保育活動の拡充・拡大を図っている。<br>今後も保護者、学校、地域をはじめとする関係機関と良好な関係を築き、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育の運営を期待する。 |